

「ENEOS SUSTINA ATフルード／CVTフルード」を11月1日より新発売

～ENEOSプレミアムオイルシリーズに、駆動系フルードをラインアップ～

記者各位

当社(社長:一色 誠一)は、11月1日より「ENEOS SUSTINA(サスティナ)ATフルード」、「ENEOS SUSTINA CVTフルード」を、全国約12,000ヶ所のENEOSのサービスステーションで、新発売しますので、お知らせいたします。

新商品「ENEOS SUSTINA ATフルード」「ENEOS SUSTINA CVTフルード」は、ガソリンエンジンオイル「ENEOSプレミアムモーターオイルSUSTINA」でお客様から高い評価をいただいていた「燃費」「走り」「静かさ」という実感ポイントを継承した、100%化学合成の超高性能オイルです。いずれも国内ほとんどすべてのAT搭載車、CVT搭載車それぞれに適合します。

オイルは、ベースオイルと添加剤により構成されており、新商品は、ベースオイルにガソリンエンジン用SUSTINAモーターオイルと同様、省燃費を実現する世界最高水準のベースオイル「WBASE(ダブルベース)」を使用しました。また、添加剤処方技術には、摩擦を制御し出力伝達性能を追求した当社独自の技術「FCテクノロジー(フリクション・コントロール・テクノロジー)」を採用しております。これらの当社独自技術により、エンジンの出力をタイヤ側に伝える際の、駆動ユニット(自動変速機)におけるエネルギーロスを抑え、出力伝達性能を高めることで、「省燃費性能」「加速性能」「静粛性能」を向上しました。

新商品を加えた「ENEOSプレミアムオイルシリーズ SUSTINA」は、乗用車の環境性能が向上し、平均車齢が伸びていくなかで、「環境に優しい車を大切に長く乗り続けたい」というお客様のニーズに対応した最先端の自動車用オイルブランドです。また、部分合成油「ENEOS FINE(ファイン)」シリーズも加え、ENEOSのATフルード・CVTフルードラインアップは、より多くのお客様に最適なオイルを選んでいただけるようリニューアルいたします。

当社は、JXグループが基本理念に掲げる行動指針「地球環境との調和」「信頼の商品・サービス」のもと、今後も環境にやさしい商品・サービスの開発と提供に取り組んでまいります。



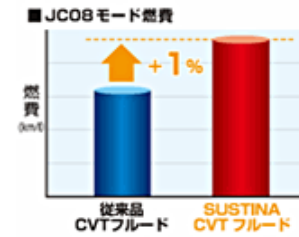
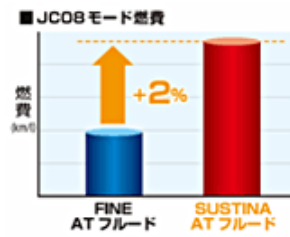
1. 新商品の特長

- (1) 燃費 出力伝達性能の向上により、「チョイ乗り」から高速走行時にいたる幅広い使用条件において、高い省燃費性能を発揮します。

省燃費性能 (燃費改善率)

SUSTINA ATフルード 最大2%向上
SUSTINA CVTフルード 最大1%向上

当社で実施した
JC08モード燃費試験

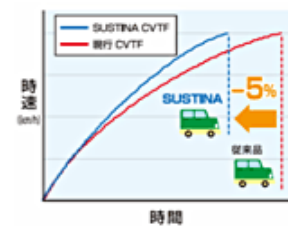
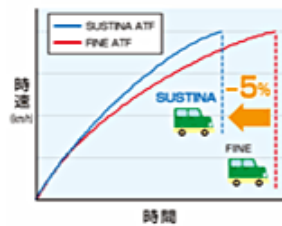


(2) 走り 油圧を素早く立ち上げ、スムーズな走りを発揮します。

加速性能

SUSTINA ATフルード、CVTフルード共通 最大5%向上

当社で実施した
低温加速試験

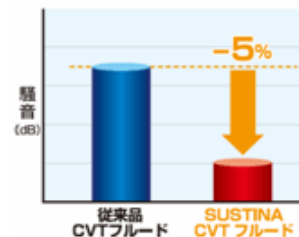
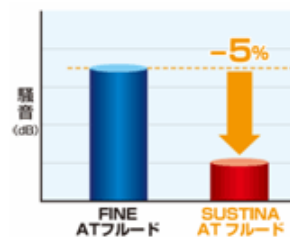


(3) 静かさ 部品間の摩擦ロスを減らすため、駆動ユニットからの振動発生音を低減します。

静粛性能

SUSTINA ATフルード、CVTフルード共通 最大5%向上

日本自動車技術研究所
で実施した
フィールド試験



※SUSTINA ATフルードは、いずれもENEOS FINE ATフルードとの比較
SUSTINA CVTフルードは、いずれも従来品 ENEOSCVTフルードとの比較

2. ATフルード/CVTフルードラインアップの変更について

新駆動系ラインアップ: 2012年11月～					現行ラインアップ				
	オイル区分	商品名	規格	容量		オイル区分	商品名	規格	容量
ATフルード	100% 化学合成油	SUSTINA ATフルード	JASO 1-A適合 DEXRON8-Ⅲ相当	20Lベール	⇐	鉱物油	エコATフルード	-	20Lベール 200Lドラム
	部分合成油	FINE ATフルード	JASO 1-A適合 DEXRON8-Ⅲ相当	20Lベール 200Lドラム					
CVTフルード	100% 化学合成油	SUSTINA CVTフルード	-	20Lベール	⇐	鉱物油	CVTフルード	-	20Lベール 200Lドラム

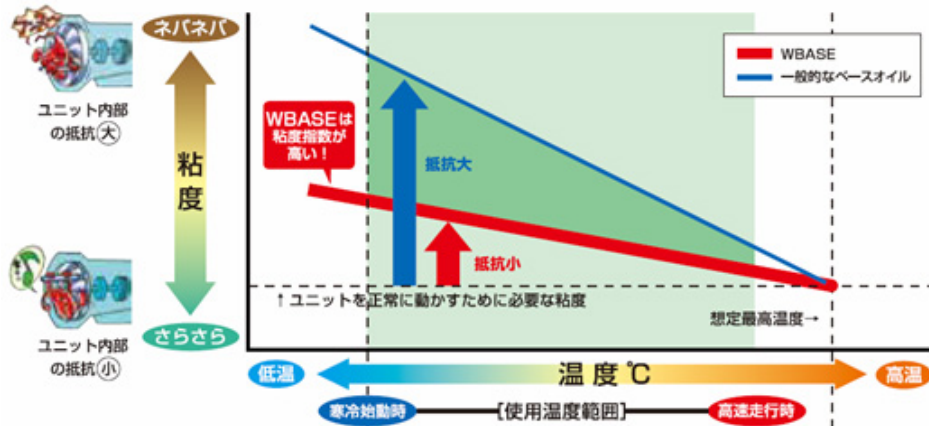
3. ENEOSオイルテクノロジー「WBASE」と「FCテクノロジー」

(1) WBASE(ダブルベース)

世界最高水準の高い粘度指数と圧力粘度係数を有した当社独自の化学合成ベースオイル

1. 従来の化学合成ベースオイルと比べ、粘度指数を約15%向上

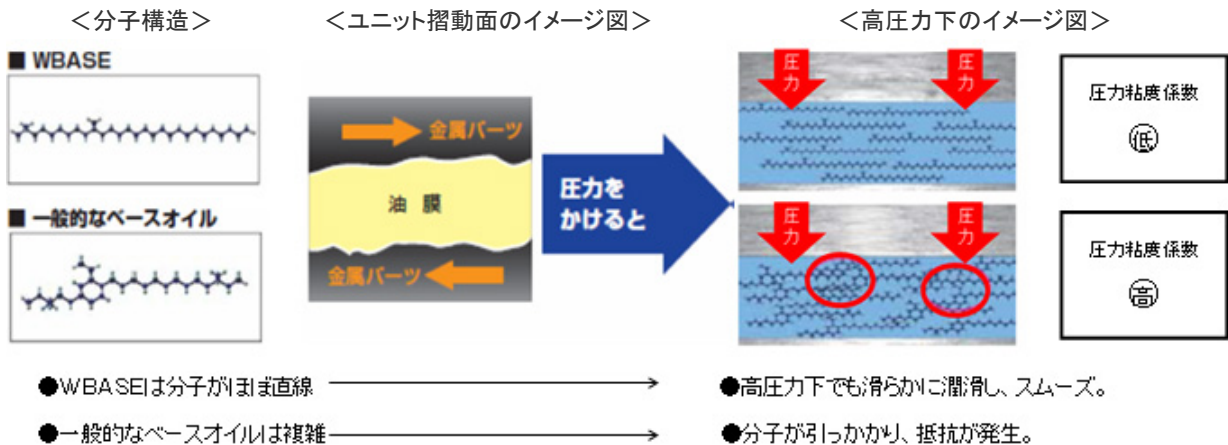
「粘度指数」が高いほど、温度変化による粘度(粘り気)の変化が少なくなり、高速走行等の高温時に必要な粘度を確保しつつ、寒冷始動等の低温時において粘度の上昇を抑え、駆動ユニット(自動変速機)内部のエネルギーロス(攪拌抵抗)を大幅に低減し、出力伝達性能を高めます。



2. 一般的なベースオイルと比べ、圧力粘度係数を約10%低減

「圧力粘度係数」が低いほど、圧力変化による粘度(粘り気)の変化が少なくなり、高い圧力が加わっている駆動ユニット内部における粘度上昇を抑え、エネルギーロス(粘性抵抗)を大幅に低減し、出力伝達性能を高めます。

【参考: 圧力粘度係数 分子構造と粘度変化】



(2) FCテクノロジー(フリクション・コントロール・テクノロジー) ※特許出願中

摩擦(フリクション)を制御し、出力伝達性能を追求した当社独自の添加剤処方技術

駆動ユニット(自動変速機)内部では、摩擦低減によりエネルギーロスを減らすことが省燃費性能の向上につながり、一方では、高い摩擦力を持たないと、エンジン側の力をタイヤ側に効率よく伝えることができないという、相反する特性が要求されます。

この「すべらせる(低い摩擦を維持する)性能」と「すべらせない(高い摩擦を保つ)性能」を高い次元でバランスさせ、ユニット内部における出力伝達性能を向上させる添加剤処方技術が、FCテクノロジーです。

以上